

学校給食における米粉パンと米粉用米作付について

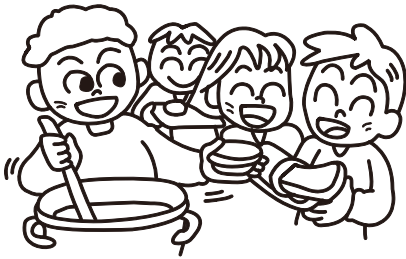
質問 報道によると、全国で米粉用米を作付していないのは、香川県を含めて数県だけであり、ほとんどの都道府県では、学校給食での米粉パン用として、米粉用米の作付を行っている。

教育委員会は、この問題をどのように考えているのか。また、この問題については、県の学校給食会の対応が問われていると思うが、県に対してどのように意見具申をしているのか。

答弁 …… 教育部長

財団法人香川県学校給食会に今後の米粉パンの供給について照会したところ、小麦粉ではなく米粉を使つての特殊な加工となることから、現在、県内のパン指定工場でも米粉パン製造の試作を進めているところであり、価格を含めて、さまざまな面から検討を重ね、研究しているとの回答がありました。

本市としては、香川県学校給食会で米粉パンの供給が始まれば、価格等も考慮しながら、学校給食への提供を考えていきたいと思ひます。



市立病院の新病院建設に伴う資金計画について

質問 市立病院の新病院建設の総事業費63億205万円の内訳は。また、借入れ等の資金計画については、どのように考えているのか。

答弁 …… 市立病院事務局長

総事業費の内訳としては

- ・ 建築工事費 42億7,040万円
- ・ 外構工事費 9,000万円
- ・ 既存建物の撤去工事費 1億9,393万円
- ・ 工事費の合計が45億5,433万円となっています。また、その他で

- ・ 医療機器及び情報システム費 13億円
  - ・ 什器(じゅうぎ)備品費 1億6,000万円
  - ・ 設計監理費 2億2,772万円
  - ・ 移設費及び事務費等の予備 6,000万円
- となつており、総事業費は63億205万円となりますが、この額は上限と考えており、今後の設計業務の中で、出来る限り建築コストの縮減に努めていきたいと考えています。

これに伴う資金調達計画については、病院事業債として、施設整備費44億9,812万円、医療機器等整備費13億円の合計57億9,812万円を借り入れ、既存建物の撤去工事費など起債の対象とならない5億393万円については、自己資金として支出する計画としています。

なお、病院事業債の年度ごとに発生する元利償還金の2分の1について、一般会計から病院事業会計へ繰り入れることとして算出した事業収支シミュレーションでは、資金収支は黒字基調となり、資金不足は生じないものと考えています。

市立病院の看護師・助産師について

質問 市立病院の看護体制を10対1(患者10人に対して看護師1人)から7対1に移行した場合、何人の看護師が必要になるのか。さらに、その場合の診療報酬はどうなるのか。

また、助産師確保のための修学資金貸与制度の内容と利用状況は。

答弁 …… 市立病院事務局長

坂出市立病院基本構想・基本計画で想定している10対1の看護体制では、病棟看護職の人数は105人となります。これを7対1の看護体制に置き換えると、試算では145人となるため、40人の増員が必要となります。

また、これに伴う診療報酬については、10対1の入院基本料を7対1の入院基本料に置き換えて概算すると、約1億7,000万円の増収が見込まれますが、一方で、看護師増員に伴う人件費が約2億円増加すると推定されます。

修学資金貸与制度の内容としては、助産師又は理学療法士を養成する学校又は養成所に在学する者で、卒業後に市立病院に勤務しようとする者に対し、修学期間中、修学資金として月額2万円を貸与するものです。なお、貸与を受けた期間以上に市立病院で勤務したときには、修学資金の返還義務が免除されます。

これまでにこの制度を利用した者は、理学療法士1名のみで、助産師はおりません。

今後、この制度が助産師確保の一翼を担えるよう、他市の制度を調査・研究し、制度の内容変更についても検討していききたいと考えています。